

## 別紙2

## 事務事業評価(事後評価)シート【令和5年度】

主管課名(担当名)	水産経済部農林課(農政担当)			
事務事業名	あさひ東根室地区公社営草地整備事業	事業番号	12800	
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input type="checkbox"/> 中間 <input checked="" type="checkbox"/> 事後	事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

## 1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-6 農業の振興
	施策目標	自然環境と調和した持続可能な農業を展開するまち

## 2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	農業者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	草種構成の悪化や収量の低下を防ぎ、生産性の向上と生産コストの低減を図るため、農地の起伏修正等を行い、大型農業機械の稼働率の向上と草地の適正な改良を行う。	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	自給飼料(草地)の生産性の向上と生産コストの低減を図り、酪農経営基盤を強化する。	

## 3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (R1)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
			R1	R2	R3	R4	R5		
1	10aあたりの牧草収量	3,518kg	—	3,821kg	3,507kg	3,908kg	3,640kg	3,600kg	3,700kg
2									
3									
4									
事業費(=下記内訳計)				R5予算		R5決算		R5予算	
				21,720		18,497			
内訳	国道支出金								
	地方債			2,700			0		
	その他			18,715			18,497		
	一般財源			305			0		
人員(人工)					0.17		0.17		
職員人件費(=人員(人工)× 7,455 千円)					1,267		1,267		
総事業費(=事業費+職員人件費)					22,987		19,764		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)					#VALUE!		#VALUE!		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)					—		—		

#### 4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	酪農経営において、自給飼料生産基盤整備は必要不可欠であり、要望量は多い。

#### 5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	自給飼料(草地)の生産性の向上と生産コストの低減が図られている。
	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	本事業は、公益財団法人北海道農業公社が実施主体である。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	本事業は適期に草地整備事業を実施することで、栄養価の高い牧草収量を確保できることから、事業の見直しは検討していない。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	事業実施による経済効果は、事業に要する経費を上回るため、事業計画は妥当である。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	農業農村整備事業を活用し、適正に事業を推進する。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	本事業の負担割合は、国50%、道25%、受益者25%である。

#### 6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替 ) <input type="checkbox"/> 終期設定あり ( R 年度末終了予定 ) <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

令和6年9月